

令和8年4月15日

防災地域建設委員会資料

報告事項

	ページ
1. JR山陰本線（益田―出雲市間）利用促進協議会の設立について	1

地域振興部

J R山陰本線（益田－出雲市間）利用促進協議会の設立について

1. 設立の経緯

沿線人口の減少などに伴い、J R山陰本線の益田－出雲市間の輸送密度は2020年度分以降1,000人/日を割り込み、昨年10月に公表された赤字幅はJ R西日本が公表する路線（区間）のなかで最大となっている。

また、先月28日には山陰道の石見三隅ICから遠田IC間が開通し、沿線の高速道路網の整備が進むことから、今後、さらなるJ R利用者の減少が懸念される。

こうした厳しい状況を踏まえ、沿線自治体と関係団体等が連携して利用促進を図るための協議会が設立された。

2. 協議会の概要

(1) 名称

J R山陰本線（益田－出雲市間）利用促進協議会

(2) 組織体制

構成団体：沿線5市（浜田市、出雲市、益田市、大田市、江津市）、
J R西日本山陰支社、島根県
会 長：浜田市長

(3) 設立日

令和8年4月13日

(4) 令和8年度事業計画

日常生活での鉄道利用を促進し、J R山陰本線と地域の活性化を図るため、以下のテーマの下、具体的な取組を実施。

- ① マイレール意識[※]醸成
 - ・協議会のロゴマーク作成等
- ② 鉄道及び沿線の魅力発信
 - ・地域イベントでのPR、ホームページやSNSでの情報発信等

※マイレール意識

路線を「自分たちの鉄道（マイレール）」と沿線住民が自覚し、みんなで鉄道を守り、育てようという考え方